

資料館の動き

海外からも見学し

今年も多く外国人が資料館の見学に訪れています。5月にはアメリカ合衆国オハイオ州立大学の学生さん、7月には(公財)環日本海環境協力センターを通じて中国の方々が見学されました。

言語や文化の違いこそあるものの、イタイイタイ病の恐ろしさとその克服の歴史や環境と健康の大切さについて学ばれ、語り部講話では何人も熱心に質問する姿も見受けられました。

イタイイタイ病のことを、より一層国際的に発信していきたいものですね。



展示室を見学している学生さん



語り部・解説ボランティア研修会を開催しました

6月23日(土)、当資料館の語り部と解説ボランティアを対象とした研修会を行いました。



飯田館長の講話

研修ではどのように継承していくかなどが話し合われ、また、飯田館長から慢性腎臓病についての講話がありました。

資料館インフォメーション

これからの行事予定
 平成30年 10月6日(土) 四大公害病の語り部講話を聴く集い〜語り部による伝承会〜
 平成31年 2月17日(日) イタイイタイ病を考える県民フォーラム(講演、学習発表など)

語り部講話の聴講者を募集しています

資料館を団体(原則10名以上)で見学される場合には、事前に申込みいただくと、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。(来館される3週間前までにお申し込みください。)詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

メールマガジン [登録者募集中]

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。[mlhope@itaitai-dis.jp]

発行/富山県立イタイイタイ病資料館 〒939-8224 富山県富山市友杉1番15地番(とやま健康パーク内)
 電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833
 URL▶http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/ ▲富山県

資料館だより

2018年 秋号

contents

- 館長あいさつ.....1
- 春の特別企画開催.....2
- 語り部コーナー.....2
- 夏休み開催した行事を紹介します! 3
- 資料館の動き、インフォメーション....4



4月29日~5月6日

春の特別企画展

『イタイイタイ病歴史写真展』開催
 『イタイイタイ病映像展』開催



『イタイイタイ病映像展』冒頭 飯田館長あいさつ

これまでの出来事 平成30年度上半期

- 平成30年
 4月29日(日・祝)~5月6日(日)
 春の特別企画展
 『イタイイタイ病歴史写真展』
 『イタイイタイ病映像展』
 5月6日(日) 『イタイイタイ病映像展』
 6月23日(土) 語り部・解説ボランティア研修会
 8月3日(金) イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー
 8月10日(金) 夏休み自由研究講座
 ~イタイイタイ病を学ぼう~
 8月24日(金) イタイイタイ病資料館活用研修会



『イタイイタイ病歴史写真展』開催 関係者のみなさん

知事のあいさつ

関係者の方々

公害認定50年の節目にあたり

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 飯田博行



4月に鏡森前館長の後任として2代目館長に就任しました。腎臓病専門の内科医として、富山県公害健康被害認定審査会の委員を務め、イタイイタイ病患者さんの病歴、検査所見などからその悲惨な状態を理解してきました。

今年は、イタイイタイ病が公害と認められてから50年の節目にあたり、5月に『イタイイタイ病映像展』を開催しました。県内テレビ局制作の番組映像が紹介され、被害者団体、行政、原因企業の各代表が決意を込めた「未来への言葉」を述べられました。

その後、鏡森名誉館長から「私がみたイタイイタイ病の歴史50年」の講演があり、イタイイタイ病の恐ろしい被害とその克服の歴史、先人達の苦労と努力を振り返りました。

今年度も県内の小・中学生をはじめ、県内外から多くの見学者を迎え、7月に入館者が累計19万人に達しました。8月に夏休み企画『イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』、『夏休み自由研究講座』を開催し、小学5~6年生が熱心に参加しました。10月に『語り部による伝承会』、来年2月に『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を予定しています。

50年の節目を迎えましたが、今後イタイイタイ病への関心が薄れ、風化することがないよう、新たな気持ちで情報発信をしてまいります。多くの皆様に来館していただき、環境を守り、自分たちの健康な生活を守ることに大切さを感じていただきたいと思います。

『イタイイタイ病歴史写真展』

4月29日(日・祝)から5月6日(日)まで、イタイイタイ病患者が歩んだ苦難の歴史を振り返る『イタイイタイ病歴史写真展』を開催しました。

イタイイタイ病資料館やイタイイタイ病対策協議会(清流会館)で所蔵している当時の生活や裁判の様子、発生源対策などのパネル44点を展示し、期間中多くの来館者がイタイイタイ病への理解を深めました。

写真展の様子



写真展を見学される来館者

参加者の声

・当時の人たちがいかに苦しんで闘っていたのかが伝わってくる。(40代 男性)

・イタイイタイ病は怖い病気だと感じた。(10代小学生 男性)

春の特別企画展

『イタイイタイ病映像展』

昭和43年5月8日、当時の厚生省がイタイイタイ病を公式に全国初の公害病と認めてから、今年で50年になりました。

それを節目に資料館では5月6日(日)、映像で歴史を振り返る行事『イタイイタイ病映像展』を開催しました。在県4局の放送局が制作した番組映像を順次上映。



映像の視聴をする参加者

途中、「未来への言葉」として知事や被害者団体、原因企業など関係者があいさつし、公害防止への決意を表明しました。また、鏡森名誉館長の講演もあり、約120名の参加者がそれぞれ制作視点の違う映像の視聴や講演に聞き入りました。

参加者の声

・過去の記憶を確かめる意味で良い機会となった。(60代 男性)



講演をされる鏡森名誉館長

イタイイタイ病を語り継ぐ 資料館の語り部さんです



大上 久彦さん (75歳)

資料館の語り部の方をシリーズで紹介します。今回は、資料館の開館から6年間の語り部をされている大上久彦さんに、これまで活動されてきて、うれしかったことや今後伝えていきたいことについて聞いてみました。

大上さんの祖母ツイさんが、イタイイタイ病の患者でした。昭和20年頃から発症し、昭和47年に85歳で亡くなられました。お風呂が大好きだった人で、大上さんが小学生の頃、弟さんと五右衛門風呂を準備し、背中を流してあげるととても喜んでおられたそうです。語り部の際も、入浴時のごときを中心に思い出を話されています。

Q1. これまで活動されてきて、うれしかったことは？
・講話を聞いていただいた生徒さんたちから、お礼状をいただいたこと、また、講話終了後の質疑の中で、内容は充分とはいかなくても、理解していただけたこと。

Q2. 語り部として、今後伝えていきたいことは？
・今後も一人でも多くの方に病気のこと、また、患者家族の体験した過去を風化させてはならないとの思いを伝え、関心を持ってもらえたらと思っています。

次代を担う子どもたちがイタイイタイ病や環境の大切さについて学びました。

イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

例年になく早い猛暑の中、小学5・6年生を対象とした「日帰りバスツアー」が行われ、16組32名の親子が参加し、イタイイタイ病の悲惨さや歴史を学び、ゆかりのある場所を巡りました。

参加者は、資料館をはじめ、カドミウム汚染から復元された農地で解説を受けながら見学。その後神岡鉱業㈱へ向かい、社員の方の案内で排水管理センターやシックナー(凝集沈殿装置)、たい積場を見学して、徹底した排水処理や環境保全に対する取り組みを学びました。

富士山へ戻って清流会館を見学。イタイイタイ病対策協議会の高木寛寛会長から患者救済への取り組み経緯などの説明を受け、バスツアーを終えました。



復元田の見学



清流会館の見学

開催日時：8月3日(金) <8時40分～16時10分>

見学場所：①資料館→②復元田→③神岡鉱業㈱(和保たけい積場、排水管理センター、シックナー)→④清流会館→⑤資料館

参加者の声

・イタイイタイ病/バスツアーでいろいろなることを学べてよかったです。(小学5年生 女子)

・自分も子供の頃学習したが、教科書上だけではあまり深く理解していなかった。とてもいい機会だった。(40歳代保護者 女性)

夏休み企画行事が行われました



高木良信氏による展示解説

夏休み自由研究講座 ～イタイイタイ病を学ぼう～

小学5・6年生を対象とした「夏休み自由研究講座」が行われ、15組31名の親子が参加しました。

はじめに、語り部の高木良信氏(患者家族、イタイイタイ病対策協議会顧問)に展示室の解説を行っていただき、病気の恐ろしさや患者・家族の様子、裁判にいたるまでの住民たちの歩みやその苦労などについて、実体験を交えてお話しいただきました。

後半は「酸性雨を調べよう」をテーマに、富山市科学博物館の朴木英治氏を講師として、科学博物館と立山の周辺10箇所にて採水した雨水それぞれ酸性度を測り比較しました。

その結果、採水地の中では標高が最も高い室堂平の雨水の酸性度が一番強く(pH4.0)出て、きれいと思われていた立山の雨水の意外な結果に、皆さん驚いていました。

この実験は好評で、夏休みの自由研究の一つに役立つものと思います。

今回は試料が多量分あったことからグループごとに2箇所ずつの雨水を調べましたが、参加者からは他所の雨水も調べたかったとの感想もありました。



実験中の様子

開催日時：8月10日(金) <13時30分から16時30分>

内容：①ガイダンス映像上映
②展示室の解説(語り部：高木良信氏)
③酸性雨を調べよう(講師：富山市科学博物館 朴木英治氏)

参加者の声

・最後に実験などが出来てとても楽しかったです。(小学6年生 女子)

・イタイイタイ病、酸性雨、どちらも地域に密着し未来の環境や生活を考える上で大切なテーマで、わかりやすく教えていただきました。(40歳代保護者 女性)